

2023 年度 フィールドスタディ（FS）実施企画

授業コード： AA256

※奨励金のカテゴリーは企画時点のものであり、今後変更される可能性があります。

奨励金の最終的な支給金額は FS の日程終了後に決定します。

テーマ タイトル	国際平和の追求ー国際法の現場を知るー
担 当 者	岡松 暁子・藤倉 良
実 施 時 期	2024 年 3 月中旬 6 泊 8 日（予定）
実 施 場 所 （ 予 定 ）	フランス（パリ）、ドイツ（ハンブルク・ノイエングアンメ）、オランダ（アムステルダム、ハーグ）
協 力 機 関 （ 予 定 ）	国際連合教育科学文化機関（UNESCO）、ユネスコ日本政府代表部、国際司法裁判所（ICJ）、国際刑事裁判所（ICC）、国際海洋法裁判所（ITLOS）、在ハンブルク日本領事館 等（予定を含む）
募 集 人 員	25 名～30 名 *2024 年 3 月に卒業予定の学生は単位の取得はできず、また奨励金給付の対象とはならないが、参加は歓迎。）
学 習 目 的	国際法が実際に使われている現場（国連機関、国際裁判所等）を訪れ、国際社会の秩序がどのように維持されているのかを体感する。 アンネ・フランクの隠れ家やノイエングアンメ強制収容所を見学し、ナチスによるユダヤ人迫害について学ぶ。 その他、外国の歴史や文化に触れ、日本を振り返りつつ、国際感覚を身に着ける。
行 程 （ 予 定 ）	（変更の可能性あり。） 1 日目：成田～パリ 2 日目：国際連合教育科学文化機関（UNESCO）にて研修、ユネスコ大使表敬訪問 3 日目：国際連合教育科学文化機関（UNESCO）にて研修、パリ～ハンブルク 4 日目：ノイエングアンメ強制収容所記念館見学、国際海洋法裁判所にて研修 5 日目：ハンブルク～アムステルダム、アンネ・フランクの家見学 6 日目：国際刑事裁判所（ICC）、国際司法裁判所（ICJ）にて研修 7 日目：アムステルダム～成田 8 日目：帰国
現地訪問の際 の 安 全 対 策	感染した場合には、ホテルの別室を用意、等。
費 用	30 万円程度 *近年の航空運賃の高騰により、さらに高額になる可能性有。 （航空運賃、宿泊費、朝食代、昼食代、現地交通費、団体旅行中の税金・サービス料・チップ、成田空港施設使用料・旅客サービス料、現地空港税、燃油サーチャージ・航空保険料を含む。但し、燃油サーチャージの額は変更の可能性有。） *夕食代、旅行傷害保険代等は含まれない。 *パスポートは各自取得する。 *金額は参加人数によって変化する。
奨励金の カテゴリー （ 予 定 ）	海外 FS 奨励金 7～9 万円（参加者数によって変化する。）
選考基準	志望票 *10/10（火）、10/11（水）の 12 時半より、BT24 階人間環境学部会議室にて説明会を開催する。
事前・事後 学 習 の 予 定	事前授業 5 回（日程は追って連絡する） 事後授業 2 回（日程は追って連絡する） 報告会の日程は後日決定し連絡する。

注 意 事 項	(1) 本コースは新型コロナウイルス感染症の状況によっては中止または時期・内容を変更する可能性があります。 (2) 中止となった場合は、下記の代替措置によって相当する学習をおこない、単位を取得することができます。 (3) 参加許可後に、キャンセルをしないでください。中止となった場合でも費用負担をしてもらう場合があります。 (4) 出発までに、パスポートを取得しておくこと。(有効期間が帰国日以降 3 か月以上あること) (5) 旅行傷害保険に加入すること。 (6) 新型コロナ感染症のワクチンを 3 回接種済みであること。
中止の場合の代替措置	(1) 予定している訪問先関係者の講演会を学内で実施。 (2) 国内の関係機関の訪問。 (3) その他、適宜対策を講じる。
評 価 方 法	事前・事後講義への参加、現地での活動、レポート等により総合的に評価する。